

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (九州)	良く なっている  やや良く なっている	－	－	－
		商店街（代表者）	来客数の動き	・寒くなりつつあり、冬物衣料の需要が活性化してきた。これまで3か月間は厳しい状況であったが、必要があれば購入するという客の姿勢がみられる。来店数が増え、売上も上がっている。
		商店街（代表者）	単価の動き	・この3か月はレーザー彫刻等の加工品の受注が多く、客単価、粗利が上昇傾向である。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	来客数の動き	・飲食店向けの販売は例年並みだが、個人客の来客数が増えている。
		百貨店（企画）	単価の動き	・デイリー商品の売上は停滞気味であるが、特選婦人服やファッション雑貨の売上が上昇傾向にある。
		百貨店（店舗事業計画部）	販売量の動き	・昨年に比べ、気候に合わせた商品の提案ができており、紳士スーツや婦人靴の催事は堅調である。ただし、催事や値引販売に限った反応であり、低価格品へのニーズが強い。昨年よりも更に価格を吟味して、必要になるギリギリのタイミングで購入する傾向が顕著である。
		衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・買い回りの客は減っているが、買上客が増えている。中国生産品の納期の遅れなどはあるが、国産品が増えているのでなんとかカバーできている。
		衣料品専門店（チーフ）	単価の動き	・9月に専門店街をリニューアルオープンして以降、来客数の増加と単価のアップがみられ、景気が回復している。
		その他専門店〔書籍〕（地区支配人）	それ以外	・複合ビルに入居しており、自分の店のフロア以外の他の業種は売上、来客数共に前年並み、もしくは前年をクリアしているケースが目立った。過去、数か月にわたっての現象であり、周囲の商環境は改善している。
		通信会社（総務局）	販売量の動き	・新プランの発売により、契約が増加傾向にある。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・予約状況は3か月前に比べて大分改善しており、客が増えている。またゴルフシーズンの到来ということもあり、客は確実に増えている。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・10月の台風接近に伴う悪影響は最小限にとどまった。秋は地域行事が多い月であり、他県や他地域からのゴルフ予約を着実に重ね、月目標の来客数を維持している。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街は駐車場がないため、集客が難しい状況である。また、近隣にスーパーの大型店が開店し、新規オープンした店周辺からの集客が出来なくなった。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・季節が移り変わるとともに購買行動にも若干ではあるが良い傾向がみられる。依然として急な状況の変化を期待するにはほど遠い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・買物にくる客や通りの客をみると、若年層、老年層の節約型の買物傾向がみられる。素材が良くなっているせいもあるが、衣料品や靴、バッグ等高級感を求める客が少なくなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・3か月前からずっと悪い状況が続いている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・例年10月は涼しくなるので7月の暑い時期よりもギフトとしての花の需要が増えるが、今年は増えなかった。また、開店等お祝いの花の需要があまりなかったため、期待したほど売上は伸びなかった。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	お客様の様子	・近くに外環状線ができてから、人の流れが変わり、行き来する人が減っている。当然売上も減少している。肌寒い気候になってもお茶の売上があまり伸びない。贈答品の単価も低い。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・紳士服はクールビズにより、秋の衣替えが9月から10月へと遅くなり、秋冬物衣料の動きが悪い。客も10月いっぱい、衣替えを意識した買物はしていない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・友の会満月となり、お買物券交換、設立記念の文化催事、大型物産催事開催、クレジットポイント催事開催で来店促進と購買意欲の増加を目指した。客の買物への慎重な姿勢は変わらず、買上単価は維持したが来客数は前年割れとなった。また、友の会お買物券の交換率は、前年実績を維持したが、買物利用での回収率が低下し、売上は減少している。

百貨店（営業統括）	来客数の動き	・来客数が伸び悩んでいる。特に、高齢婦人層は購買に対する反応が鈍くなっている。
百貨店（営業政策担当）	販売量の動き	・引き続き来客数、買上率はいずれも前年水準を維持、もしくは上回っているが、1人当たりの購買点数の減少傾向も続いている。景気は一進一退の状況が続いていると考える。
百貨店（業務担当）	お客様の様子	・以前に比べて、季節商材のような際物を積極的に買うという状況ではないが、常用できる商品に関しては、より良い物を買おうとする姿勢がみられる。その際の値段より質を求める姿勢は、決して購買意欲が弱い様相とは違う。
スーパー（店長）	販売量の動き	・10月の気温は例年より高温であり、秋物衣料が苦戦している。食品部門におても、鍋物材料やホットメニュー等の商品が売れていない。また青果物の相場安もあり、単価が低下し、売上がマイナスとなっている。ただ例年来る台風が、今年は来なかったのが救いである。こういった状況のなか、集客や売上の前年実績を確保するのは、販売促進策を強化して、やっとなという状況である。
スーパー（店長）	販売量の動き	・新たな競合店の出店もあり、エリア内の価格競争が激しくなっている。
スーパー（店長）	単価の動き	・来客数の伸びはなく、買上点数が若干増えている。購買力が少し高まっており、客単価が前年比約3%増で伸びている。
スーパー（総務担当）	それ以外	・日中の気温があまり下がらず、衣料品、住居用品の売上が伸びていない。競合との価格競争も激化しており、厳しい状況となっている。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・夏以降、比較的堅調に推移しており、前年実績を維持するペースで推移している。主に食品に関しては好調である。
スーパー（業務担当）	お客様の様子	・先月から徐々に気温が低下し、衣料品の動きは堅調となっている。食品や住居関連商品は特筆すべき動きはなく、ここ数か月は変化がみられない。生鮮関連も比較的高値で推移しており、需要と供給のバランスが取れていない印象を受ける。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・必要な物しか買わないという客のシビアな購入態度が変わらない。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・デザートの特産買いがなかなか多い。ケーキ屋ではなく、コンビニエンスストアの安いデザートを買う人が増えている。
コンビニ（エリア担当・店長）	販売量の動き	・先月の中旬から近くにスポーツジムができ、その帰りの客が夕方から夜10時までの時間帯で増えている。売上はその時間帯だけ伸びているが、客単価は上がらない。
衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・3か月前の夏物セール時期に比べると、今月は秋物の実需期になる。ファッション業界は気候にかなり左右される。ようやく今週から寒くなってきたので、重衣料が動き始めた。前半は物の動きが鈍く、単価も低く売上が伸びなかったが、後半ようやく前年並みになってきた。
家電量販店（企画・IR担当）	販売量の動き	・スマートフォン、太陽光発電システム等伸長している商品がある一方、テレビ関連商品が振るわず、全体として3か月前と同様の動きをしている。
その他専門店 [コーヒー豆]（経営者）	お客様の様子	・気候が若干寒くなったので、コーヒーの出る量が増えてきた。ただ売上は昨年と変わらない。客の購入量も昨年とほぼ横ばい状態である。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格が下げ基調である。10月の連休期間に地方祭があり、県外から観光客が多数訪れたので、消費等に期待したが、燃料油等の売上は昨年並みである。
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・可もなく不可もなく、変化があまりみられない。
高級レストラン（従業員）	来客数の動き	・アフターコーヒーを飲む婦人客が少なくなった。
居酒屋（経営者）	来客数の動き	・通りに人が歩いていないので、予約以外の客の入り非常に悪い。前年に比べても売上が下がっている。
観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊に関しては、大会や学会等が多く、予算、昨年実績を大幅に上回る。レストランに関しても、法事等の個人催事で売上は良い。宴会や披露宴に関しては前年並みで推移している。

	タクシー運転手	お客様の様子	・今月初めは週末の度に運動会等、子ども向けのイベントが多く、人が動かなかった。月末にかけて少し動いたくらいで、まだまだ悪い。
	タクシー運転手	来客数の動き	・10月に入り、県外の行楽客の予約状況が大変良く、昼間の売上は良い。ただ夜の繁華街の客の出入りが悪い。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は地域で様々なイベントがあり、それに伴い遠方の観光客がたくさん来たため、いつもよりやや良かった。
	通信会社（管理担当）	それ以外	・資金繰りが厳しい状況が続いている。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・販売促進キャンペーンを実施しているが、新たな需要の喚起には至っていない。
	通信会社（営業担当）	それ以外	・エコカー補助金制度も終わり、消費動向が悪い。また赤字国債法が可決されないなか、いろんな分野で困っている状況が発生しており、何かにつけて不景気要素が多い。
	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	来客数の動き	・客数は9月よりも増加傾向にあるが、まだまだ4月の医療報酬、介護報酬の改定に伴う利用控えがあり、昨年度よりも増加数が少ない。
	音楽教室（管理担当）	来客数の動き	・先月からは特段、生徒の動きはなかった。例年通りである。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・不動産業の仲介業は、大口の需要はあるものの、一般の客の購買意欲が非常に落ちており、問い合わせ等も減っている。土地の動きが悪い。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・秋物商戦に入り、客単価は上昇しているが、来客数が減っている。
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・アパレルは堅調ではあるが、売上占有率の高い書籍やCD、メガネ、趣味雑貨等の動きが大変厳しい。飲食も競合店のリニューアルの影響もあり、前年割れの状況である。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・来客数、買上単価共に下がっている。イベントの時は来客数が増えるが、平常時の来客数は非常に落ちており、買上単価も落ちている。
	百貨店（売場担当）	単価の動き	・7月に非食品部門の客単価が前年比6%増で伸びていたが、10月になって同2%減となった。来客数は前年比1%減で推移している。ただ客単価は前年を下回ることはここ半年以上ない。衣料品が若干売れていないことが今までと変わってきている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・当地は7月の災害以降、産業の低迷や政治不信、中国や韓国の問題もあり、観光客が減り、当店の販売量も来客数も減っている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客の低価格志向が一段と強くなっている。以前は多少高くても必要であれば、ちゅうちょすることなく購入していた物も価格を理由に購入をちゅうちょするようになってきた。
	スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合相手が販売形態をディスカウント形態に変えて、営業時間も21時から23時までと長くなり、当店19時からの売上が前年比8%減となり、夜間の売上に影響が出ている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・気温の影響もあるが、来客数が増えず、商品の動きが非常に悪い状況である。特に衣料品の動きが悪い。
	コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・競合店出店による競争の激化で、思うような売上が確保できず、売上は大きく前年を下回っている。天候には恵まれたが、降灰等もあり、来客数が大幅に減っているなど厳しい状況となっている。
	コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・グループ会社の量販店の売上は前年比9.6%減となっているが、コンビニエンスストアは逆に同5.1%増となっている。女性や高齢者の来客数が増え、パンや総菜の販売個数の増加につながっている。
	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・大型店閉鎖の影響が8月から表れている。商店街への来街者数は減っている。
	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・売れ筋が非常に限定的になっており、業界全体が苦戦している。マスコミ等のニュースの取り上げ方もマイナス要因になっている。
	乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・9月以降、エコカー補助金制度の終了により、新車の販売台数が大幅に計画を下回る。自動車販売店にとってダメージが大きい。

乗用車販売店 (代表)	競争相手の様子	・エコカー補助金制度の終了に伴い、売行きがかなり悪くなっている。
住関連専門店 (経営者)	お客様の様子	・毎月のキャンペーンは相変わらず低調だ。店売のほうも来客はあってもなかなか成約には至らず、成約にも時間が掛かっている。
その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (支配人)	販売量の動き	・アパレル衣料品の動きが悪い状況が顕著になっている。気候だけが原因ではない。
その他小売の動向を把握できる者 [土産卸売] (従業員)	競争相手の様子	・当店同様、隣接した売場でさつま揚げを販売している業者も昨年と同じか、少し下回る売上しか確保できていない。昨年は東日本大震災の影響で売上が落ちたが、今年も昨年並みである。
その他小売 [ショッピングセンター] (広報担当)	単価の動き	・消費者は日々の買物において、購入商品をいつ、どこで買うかを決め、買う店舗を限定している。購入ポイントは価格及び付加価値となっており、セールやポイント数倍というタイミングを狙っている。不要不急の買物はほとんどなく、競争による価格引下げでも買上点数は伸びず、客単価も低下傾向にある。
高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・10月も夜の社用の接待は少なかつた。世情があまり安定していない、また衆議院解散等の話もあり、水面下で地元議員の選挙活動が始まり、企業接待が動かない状態である。
都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・福岡市内でのイベントは結構あるが、旅行社からの予約は少なく、インターネットの予約が目立つ。
旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・領土問題の反動で、東南アジア、ハワイ、グアムへの旅行は好調であるが、韓国や中国のマイナスをカバーするには至らない。
旅行代理店 (企画)	販売量の動き	・好調であった海外であるが、中国を中心に多少陰りがみられる。領土問題の影響もあるが、消費マインドが少しずつ減退している。
通信会社 (業務担当)	販売量の動き	・10月は、他社新商品発売の影響と自社新商品待ちで、スマートフォンの携帯販売は特に取替台数が大きく落ち込み、合わせてスマートフォン関連のアクセサリ商品やソフトの売上も減少傾向となっている。
美容室 (経営者)	販売量の動き	・2、3か月前からだんだん悪くなっている。国会運営をもっとしっかりしてもらい、社会にもう少し貢献できる政党や社会を活性化するような政策がないと、消費者の生活は向上しない。景気対策は地方まで回っておらず、厳しい。
美容室 (店長)	お客様の様子	・客はお金を出そうとしないし、財布のひもが固い。
悪くなっている	一般小売店 [鮮魚] (店員)	・来客数が本当に少ない。どうすればよいのか分からない状態である。
	百貨店 (営業担当)	それ以外 ・10月は本来ならば百貨店にとって秋物ファッションの実売期であるが、いわゆる中間層をターゲットとした商品の売行きが本当に厳しくなっている。ここ最近の傾向であり、更に拍車が掛かっている。消費の二極化がよく言われているが、更に鮮明になっている。高額品の動きは良いが、中間層の動きが非常に厳しい。
	スーパー (総務担当)	来客数の動き ・来客数が減少しているため、売上、収益共に悪化している。新規参入の競争相手も増加したため、来客数に影響している。また、今以上の価格重視戦略は難しく、低価格志向の客の来店を促せない。
	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子 ・消費者は極端に買い控えをしている。
	衣料品専門店 (店長)	販売量の動き ・商店街改造工事が終盤に入ったが、客は戻ってこない。
	衣料品専門店 (店長)	お客様の様子 ・お金は持っているが、その使い道には慎重である。気に入った物には惜しみなく使うが、気に入らない物には慎重になる。ますますその傾向が強くなっている。
	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子 ・自動車購入に対するメリットがなく、客は買い控えている。
	都市型ホテル (販売担当)	来客数の動き ・来客数が多い日と少ない日をはっきりしている。
	タクシー運転手	来客数の動き ・当地は観光客が10月と言えどもかなり減っている。特に韓国や中国からの外国人観光客がかなり減っている。また、歓楽街の動きもさっぱりである。こんな酷い状況は今まで知らない。

企業 動向 関連  (九州)	良く なっている	—	—	—
	やや良く なっている	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・繁忙期であるため受注量、生産量共に順調に推移している。
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・今月はおせちの中に入れる商品等の年末の特注商品が入り、売上は前年度より少し良かった。しかしながら、通常の定番商品は相変わらず動きが悪く、受注確保が難しい現状である。
		経営コンサル タント(代表取締 役)	受注量や販売量 の動き	・3か月前、当地は大雨の影響で厳しい状況だったため、それと比べるとやや良くなっている。また大雨の影響で、建築関係の事業所は若干良い状況にある。
	変わらない	農林水産業(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・本来10月は、冷凍食品加工メーカーの年末需要向けの加工原料肉の納品が多くなる時期であるが、今年は非常に厳しい状況である。スーパーや居酒屋向けも期待したほど伸びず、例年にない月であった。
		繊維工業(営業 担当)	取引先の様子	・中国不安のために中国へ進出した工場が戻ってくると思っていたが、他のアジアの国への進出が進んでおり、空洞化のほうに傾向は強い。
		家具製造業(従 業員)	受注量や販売量 の動き	・受注量及び物件数共に良くも悪くもないが、高額商品や品質重視の現場等で前年比10%近く増え、売上はやや伸びている。低価格商品が氾らんしたが、品質にこだわった家具の需要が見直されている。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・機械設備製作や部品加工の単価が下がり、受注量が減っているため、仕事の確保が難しい状況である。
		建設業(社員)	受注量や販売量 の動き	・官公庁の発注予定にばらつきがあり、困惑している業者が多い。市役所はほぼ予定通りに実行されているようだが、県に関しては全体の50%ぐらいしか発注されてない。今後の発注のことを県に聞いてみたが、回答がなかった。不安のほう大きい。
		通信業(経理担 当)	受注量や販売量 の動き	・会社の受注量は前年並みとなっている。
金融業(営業担 当)		取引先の様子	・食品等、中国や韓国から商品を仕入れ、国内に卸している企業は商品が手元に入るまで通常より時間がかかっており、資金繰りに悪影響を及ぼしている。景気が低迷している状況に変わりはない。	
金融業(調査担 当)		取引先の様子	・部品メーカーを含む自動車業界を中心に、エコカー補助金の終了や中国への輸出低迷の影響はあるものの、一方で太陽光発電事業及び消費税増税に伴う需要もあることから景気は変わらない。	
新聞社(広告) (担当者)		受注量や販売量 の動き	・化粧品や通信販売の出稿は前年を超える量で推移しているが、領土問題により旅行広告の出稿が前年比10%減と伸び悩み、全体としては厳しい状況が続いている。	
経営コンサル タント	受注量や販売量 の動き	・現在の顧問先をみると、新しいことに挑む力がないので守りに入っている。コスト削減を重視している企業が多い。		
やや悪く なっている	農林水産業(従 業者)	受注量や販売量 の動き	・生乳関係の販売は、生産初段階での餌の値が上がっており、非常に厳しい状況である。また、牛乳関係の伸びが思ったほど良くない。	
	輸送用機械器具 製造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・販売台数や生産台数が大幅に減少している。	
	輸送業(総務)	受注量や販売量 の動き	・中国問題等で物量が減少している。	
	金融業(従業 員)	取引先の様子	・メガソーラーの案件は多いものの、その他の分野では、食品やバイオ、電気機械関連企業で新規プロジェクトを先送りしたり、取り止める動きがみられる。	
	金融業(営業職 渉外係)	取引先の様子	・半導体や液晶製造関連企業は軒並み受注が減少しているとの声もあり、景気が悪くなっている。	
	経営コンサル タント(代表取締 役)	受注量や販売量 の動き	・受注量が減少傾向にあり、また小さな金額であっても投資を見送る企業が出ている。	
悪く なっている	一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・円高や中国問題、EU問題という大きなマイナス要素により、受注量が大幅に減少している。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・10月に入り、急激な受注減となり、今は大変苦労している。特に半導体関係の仕事が全くなくなってしまった。他の部門も厳しい。	
	精密機械器具製 造業(従業員)	受注量や販売量 の動き	・受注量はかなり激減している。	

		その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	取引先の様子	・市町村の建設関係の計画や設計業務、調査関係の業務については、9月補正予算でいくらかの業務が予算化されるが、今年度は業務の数が少ない。8月の九州北部豪雨で災害を受けたところは道路や河川、法面の災害復旧の予算に回しているところが多く、当初予算化していた金額も発注時に入札予定価格が低くなっているところがある。
雇用関連	良くなっている	—	—	—
(九州)	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	それ以外	・研修事業を行っているが、今まで削減されていた企業の研修費用が復活したのか、研修依頼が増えている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人が徐々に増えている。年末需要についても、例年注文を頂く企業からも、既にオーダーを頂いている。特に市内は、新規オープン的大型店舗があり、雇用機会が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は3か月前と比べ12.6%の増加、前年同月比でも4月以降毎月増加している。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・昨年度の求人件数は、前年度を若干上回ったが、今年度の求人件数は、前年度を更に上回っている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	採用者数の動き	・ここ数年のなかで内定のスピードが速く、採用サイドから見ると好調である。
変わらない		人材派遣会社（営業）	求職者数の動き	・求職者数は徐々にではあるが、減少傾向を継続している。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人の伸びは前年同月比2.9%、中身はパートのみの求人増である。
		職業安定所（職員）	それ以外	・新規求職者は、前年同月比7.9%減少しているが、新規求人数も同4.0%減少している。また、管内企業からも景気が上向いているという声は聞こえてこない。
		職業安定所（職業相談）	求人数の動き	・求職者数の減少と求人数の増加により、持ち直しの動きが続いている。
やや悪くなっている		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・景気の先行き不透明感から、求人意欲が低下しそうな様子である。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・今年度の8月より求人取扱件数の増加幅にブレーキがかかり、現在前年度比10%を切るところまで増加幅は小さくなっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・エコカー補助金の終了及び中国との領土問題の影響で、車両関連の製造業の求人が厳しくなっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・韓国、中国との社会的情勢から、観光客が激減している。観光施設や商業施設への影響が大きい。
		民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・派遣依頼数が減少するなか、長期間の派遣依頼は減少し、イベント等の単発案件は更に減少している。販売イベントの単発依頼の減少が顕著である。
悪くなっている		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・小手先の緊急雇用予算だけを使い切ることには行政は終始しているが、抜本的には何も変わっていない。この雇用情勢に就業者はついていけない。働く意欲のない人は、生活保護の手前で強制労働させるくらいのシステムを作るべきだ。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・産休代替による派遣依頼はあるが、繁忙要員による派遣依頼は少ない。
		民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・年度後半のスタート月である10月の求人数が前年同期を下回っている。需要の伸びが期待できない。